

## 「県民と県議会との意見交換会」 八幡平会場 の概要

- 〔日 時〕 平成30年12月18日（火）13：00～15：00  
〔場 所〕 八幡平市役所 多目的ホール棟大ホール  
〔テーマ〕 妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援について  
〔参加者〕 （6名）  
岡 外 京 子  
米 田 純 奈  
高 橋 貴 子  
岩 崎 花 絵  
立 柳 亜 矢  
古 川 真 理
- 〔出席議員〕 （7名）  
工藤勝子議員、佐藤ケイ子議員、ハクセル美穂子議員、千葉絢子議員、千田美津子議員  
小西和子議員、吉田敬子議員
- 〔オブザーバー議員〕 なし
- 〔事務局職員〕 （6名）

### ◆ 参加者自己紹介及び現在の現在のの子育ての状況等の紹介

#### ○岡外さん

夫と娘3人で暮らしている。パートをしながら子育てをしている。

#### ○米田さん

娘2人と夫と私の核家族だが、隣に私の実家があるので、私の両親に手伝ってもらっているが、両親もまだ働いているので、普段は自分と夫の2人で子育てをしている。私は正職員だし、夫も看護師で夜勤がある。仕事が残っていても、保育園の時間があるので、仕事を残して迎えにいたり、仕事が大変な時は土日に出勤して片付けたりすることもあり、子育てしながらの家事と仕事との両立は大変だと日々思っている。

#### ○高橋さん

子供2人と義理の父、私たち夫婦の5人家族。家が専業農家で、義理の父ということもあり、なかなか子育てを頼ることができない状況。実家も専業の葉タバコ農家なのであまり頼ることができず苦勞することもある。

金属業でほぼフルタイムで働いている。もう少し長く働きたいが、家族の協力が得られずたまに悩むことがある。今は特に問題なく子供たちも元気に育っているのでもいいのかとは思っている。

#### ○岩崎さん

葛巻町出身、就職を機に八幡平市に引っ越してきて、今は盛岡市に嫁いで夫の実家に住んでいる。8人家族。八幡平市の保育園に勤めており、息子も3カ月から同じ保育園に入っている。送り迎えはほぼ私がしている。現在2人目の子供を妊娠中でもう少しで家族が増える。

#### ○立柳さん

核家族だが子供が7人いる。上の4人はもう社会人になって、下の子3人の子育てをみんなで一

生懸命協力しながら頑張っている。自分はパートをしながら子育てをしているが、上の子たちが面倒を見てくれるのでとても助けられている。

## ○古川さん

出身は八幡平市。大学卒業後、八幡平市の保育園で栄養士をしている。

嫁いで盛岡市に住んでいるが、八幡平市で働いているので、一緒に子供を連れてきて勤務先の保育園に預けている。子供は2人とも同じ保育園に入れてもらった。

8人家族で夫の実家に住んでいるが、家族もみんな働いているので、子供の具合が悪いときなどは自分が仕事を休まなければならないが、どうしても休みがうまく取れないこともあり、苦勞することもある。実家が八幡平市なので、自分の両親にも手伝ってもらうこともあり、自分たちだけではなく家族にも手伝ってもらいながら子育てしている。

## ◆ 意見交換

### ○ハクセル美穂子議員

保育園に入れようとしたときの体験、エピソード等をお伺いしたい。

私は自営業で、元は役場の職員だったが結婚を機にやめた。夫がアメリカ人で英会話教室をしている。自営業なので保育園に入れることもできたが、保育園のルールで上の子を2歳で入れると下の子も一緒に入れなければならないが、夫が2歳くらいまでは下の子も見たいということで保育所に入れず、3～4歳から幼稚園に入れていた。

#### 【回答：古川さん】

自分が保育園で働いていたので、復帰できないと職員が足りず、優先的に入所できた。

#### 【回答：立柳さん】

我が家は3人一度に保育園を探したが、タイミングよく全員入ることができた。入所は4月から。求職していて仕事はすぐ決まったが4月まで待ってもらった。特に困らなかった。

#### 【回答：岩崎さん】

保育士なので、人手不足なので働いてくれと言われ、仕事に復帰した。子供は3カ月で保育園に入れた。

勤務中は子供と別々だが、半年間くらいは育児時間をもらって、母乳をあげにいたりしていた。

#### 【回答：高橋さん】

上の子の入所の決定書がきたのが2月28日で、その後すぐ東日本大震災があったので不安だった。実際は4月から入れた。子供は9カ月だった。下の子も同じ保育園に入れたかったが空きがなく、違う保育園に6カ月から入れた。同じ保育園に入れられるまでの半年間は車で10分くらい離れた2カ所の保育園に通い、その時は大変だった。

#### 【回答：米田さん】

長女も次女も秋生まれ。1年間、育休をいただいた。保育園の一斉募集が1月なのだがそこで申し込まないと、年度途中だと難しいと聞いていたのでその時に申し込んだ。長女は11カ月の時から、次女は一度待機になったが、キャンセルが出て長女と同じ保育所に11カ月で入ることができた。

西根地区のゼロ歳児は待機が多いと聞いている。(会場近くの)松野保育園に預けたがそこは利便性もよく混む。遠くの保育所に決まったらどうしようかと思っていた。

**〔回答：岡外さん〕**

どの子どもスムーズに同じ保育園に入れた。西根地区の保育園に入れているが、割と空きがあるようであり、1年育休をもらい、復職できた。

**○千葉絢子議員**

育児休暇を取った方に、仕事復帰までの間の収入の状況、復帰したいと思った動機、仕事と育児を両立するうえで必要だった支援について、お伺いしたい。

私は最初の子供を産んだ時に夫が東京に単身赴任していた。育児休暇に入ったときも夫は東京にいて毎週帰ってきてくれたが、家には夫の家族と私だけだった。収入に関しては2カ月に1回、給料の半額分程度の育児休業給付金しか入ってこない状況で、自分の生活にも困るし、夫は東京で生活しているのでそちらもお金がかかり、経済的にも苦勞したので、育児休暇を切り上げて仕事に戻った。

また、夫の家族と同居していたが、当時、大正生まれの夫の祖母がまだ元気で、うちの嫁は子育てするといつて仕事を休んでいるとか、復職後も嫁は家の中のことを祖母に預けて外で遊んでばかりいると周囲に言いふらされ、家族からの支援はあったが精神的なバランスをとるのがすごく大変だった。

お姑さんからは早く仕事に復帰してはと言ってもらえたとし、復職して経済的にも少しは余裕のある生活をしたいというのもあり、私は早めに仕事に復帰したが、皆さんにも困難であったり、収入面での苦勞があったかお伺いしたい。

**〔回答：岡外さん〕**

実家が近くにあるので、復職後も困ったときは助けてもらったので大丈夫だった。家事も、夫が意外とやってくれている。

**〔回答：米田さん〕**

収入については、組合から毎月基本給の半分くらいいただいていたが、それまでの収入よりずいぶん少なくなった。貯金も切り崩すなどけっこう厳しく、今まで給料から引かれていた住民税などの請求が来たときは大変だった。

仕事に復帰してから大変だったのは、訪問もある仕事なので、約束があっても子供が熱を出したりするとキャンセルしなければならず、こちらの都合で申し訳ないと感じ、病児保育などがあつたらと思った。

**〔回答：高橋さん〕**

記憶があいまいだが、私が育休に入ったときは、給料の半分程度の給付金が半年後くらいにしか入ってこず、生活費の足りない分をどうやってかき集めていたか大変すぎて忘れてしまった。経済的に非常に大変だった。

仕事に復帰してからは、子供が熱を出しやすく、上司に愛情が足りないのではないかなど、度々嫌味を言われたことが非常につらく、結果的に仕事を変えた。

その職場は女性も結婚しても仕事を続ける職場で、嫌味を言った上司も女性で子育ても経験している方だった。子育てについて理解してくれる人と、そうでない人がいたので大変だった。

家事もほとんど自分がやっているが、義理の父がおいしいご飯を作ってくれ、非常に助かっている。

**〔回答：岩崎さん〕**

育休期間が短かったので収入面での苦勞はあまりなかった。

職場には半年くらい育休をとりたと言ったが、新学期も始まり人手が足りず3カ月で復職した。

子供が1歳くらいまでは熱を出して早退することが多かった。幸い家族の助けがあつたのでどうに

かなったが、核家族だったら大変だったと思う。

2人目は半年くらい育休を取りたい。

1人目のときは妊娠、出産して仕事に復帰する人が少なかったが、今は保育士の数が増え、妊娠、出産しても働き続ける人が増えたので以前よりも育休を取りやすくなったと思う。

**〔回答：立柳さん〕**

出産後は子育てに専念していたので、育休はとったことがない。

保育園に入れるのが決まり仕事も見つかったが、そのタイミングで子供が3人順番におたふくにかかり、職場からまだちょっと働くのが早いのではないのかと、実質クビのような形になってしまった。今はパートで働いている。

**〔回答：古川さん〕**

育休中の収入はなかった。2人目のときに、給付金の制度があることを知って、職場に申請を出したかったが、職場でもよく分かっておらず、結局2人目の時ももらえなかった。

夫が働いていたので夫の収入もあったが、税金や自分が職場で入っている保険料などは貯金を切り崩すなどしていたので、早く働かなければいけないと思った。

仕事面では、ある程度責任のある仕事をしていると、休んでも代わりに誰かがやってくれるわけでもないのが溜まる。子供がインフルエンザで1週間休まなければならなくなっても、その分自分の仕事が溜まる。自分が原因で仕事に行けないときは仕方ないが、子供が具合が悪い時などは夕方夫が帰ってきてから、仕事をしに行くなどしている。

家族がいるので助けられてはいる。

**○千田美津子議員**

今、岩手県内では産婦人科、小児科の医師が少ない。皆さんが子育てをされていて、病気になったときに大変だったとか、こういうものがあつたらよかつたということがあつたらお伺いしたい。

**〔回答：米田さん〕**

市内には小児科が3カ所あるが、夜間に何かあつたり、大きな病気は盛岡市まで行く。産科もなく、出産も健診も盛岡市まで行かなければならない。

**○ハクセル美穂子議員**

雫石町も同じような状況。

産む日に産婦人科までどうやって行こうかと悩んだ。4人のうち3人は自分で運転して行った。陣痛が始まってから盛岡市まで行くのは大変だと思う。

**〔回答：古川さん〕**

1人目のときの陣痛は夜中の3時だった。少しおかしいと思って夫に病院まで連れて行ってもらった。

2人目のときにも、何かおかしいと思った時が朝で人がいたので助かった。一人でいるときに陣痛が始まったらどうしようという不安はあつた。

**○工藤勝子議員**

やはり、近くに出産できる場があれば、ということ声を言わないと。盛岡市で健診を受け、出産することが当たり前と思つてしまつてはいけない。

**〔回答：立柳さん〕**

次男の出産の時、岩手町にまだ産婦人科があって、そこを受診していた。出産の前日、冬で道路が滑り、軽く車をぶつけてしまったことにびっくりしたのか、夜に急に破水してしまいタクシーで岩手町まで行ったが、うちでは無理と言われ、救急車で盛岡市の病院に行った。

**○千田美津子議員**

先ほど、病児保育があったらというお話があったが、この辺にはないのか。

実家など、支援してくれる人が近くにいればいいが、いないと本当に困る。病児保育、病後児保育がもっと地域にあってほしいと思う。奥州市では奥州市総合水沢病院で病児保育、病後児保育をやっていたが、小児科の先生がいなくなり、今月からなくなってしまった。子育てしている方々にとっては病児保育、病後児保育が本当に必要であると思う。

**〔回答：米田さん〕**

最も近くて滝沢市に2軒あるが、そこまで行くのも大変である。

**〔回答：岩崎さん〕**

産婦人科がもっと近くにあればいいと思う。冬だと行くのが大変だし、待ち時間も長いので、ちょっと気になることがあっても我慢してしまう。

子供が病気であっても、やはりお母さんたちは休みにくいのかと思う。微熱があっても、熱が上がったら迎えにくるので、と言われることがある。保育園から職場に、迎えにきてもらうよう連絡ももらったほうが休みやすいようです。

**〔回答：高橋さん〕**

上の子が虫刺されが悪化しとびひになりそうだったので、周りにうつしても困ると思い、近くの病院に行ったら、こんなことで来るんじゃないと医師にきつく言われたことがある。薬もろくに出してもらえず、心配で行ったのにそういう対応にショックを受けた。

**〔回答：米田さん〕**

出産で困ったことは特になかったが、第1子の出産後に乳腺炎になり、近くで診てもらえるところもないため、出産した病院に通院したが、家族も仕事で日中不在のため、病院に連れていってくれる人がおらず、高熱の状態でも冬道を小さい子を連れて通院したのは大変だった。もっと近くで診てくれるところがあればと思った。

**〔回答：岡外さん〕**

1人目の時は盛岡市に住んでいたのですが、破水しても病院が近くてよかったが、2人目、3人目のときはもう八幡平市に住んでいた。予定日が冬だったが、健診して、そのまま入院、出産することになった。やはり近くに産婦人科があったほうがよいと思った。

**○吉田敬子議員**

母乳育児をされていた話があったが、自分も今7カ月の子供を母乳で育てている。先日、保育園見学に行った際に、同じような境遇の方から、復職しても母乳をあげるために保育園に通っていたという話を聞き、大変だと思って聞いていた。そのような場合、昼休み時間だけでは済まないだろうから、時間の融通がきく企業でなければならないと思うが、皆さんはどのように対応されていたのかをお聞きしたい。

また、皆さんは、基本的にお子さんが2人以上いらっしゃるが、2人目以降の出産を考える際に、

こういうことが無ければ、2人目、3人目と望めるのにと考えたことがあれば教えてほしい。

**〔回答：古川さん〕**

自分も母乳育児だったが、1人目は慣らし保育の際に哺乳瓶に慣れるまで時間がかかってとても大変だったので、2人目は母乳もミルクも両方あげる方法に変えた。保育園に入ると自然に慣れて哺乳瓶で飲むようになるが、最初からそうしていた。

**○吉田敬子議員**

母親としてはどう思っているのか。本当は母乳で育てたいけれど、仕事に復帰するために自分のエゴでミルクを与えていることに心の中で葛藤を抱えているという母親の話もよく聞く。

**〔回答：古川さん〕**

自分は1人目の時に母乳で大変な経験があったから、2人目は哺乳瓶を使うと決めていた。

1人目の時は、最初母乳が出ず、病院で丁寧に様々教えてもらって母乳をあげていたが、調理の仕事に復帰すると、給食室の中に入っての仕事であるため、なかなか途中で抜けられず、胸が張って痛くても母乳を絞る時間もない状況であり、だんだん母乳も出なくなってきた。だから、2人目の時はもうしょうがないという気持ちだった。

**〔回答：岩崎さん〕**

育児時間は貰っていたが、自分の受け持ちのクラスがあるので、昼だけ30分母乳をあげて、他はミルクで対応した。思っていたより早くミルクを飲んでくれたのでよかった。少しせつない気持ちもあったが、自分の母乳よりミルクの方が栄養があると考えことにした。そのうち離乳食も始まったので、母乳にこだわらず育児できた。

**○工藤勝子議員**

皆さん、やはり、母乳とミルクの混合で育てているのだろうか。

**○千葉絢子議員**

自分は母乳があまり出なかった。自分の母もあまり母乳が出なかったので、自分自身も粉ミルクで育った。母乳も最初は出たが、赤ちゃんの吸いつきがあまり上手ではなかったし、子供たちが皆3,500～4,000gくらいで生まれてきたので、少しミルクを足さないと血糖値が下がって危険と言われた。母乳育児に熱心な病院で出産したこともあり、母乳ノイローゼになりかけた。でも、粉ミルクに切り替えたことで預けて仕事にもいけるようになった。粉ミルクでも皆元気育っているから、自分は特にこだわっていない。母乳が出ないことに追いつめられてナーバスになっている人が私の周りには結構いたが、自分はおおらかに考えることにした。

**〔回答：岡外さん〕**

自分は真ん中の子が母乳を飲まなかったのでミルクで育てたが、とてもお金がかかった。

**○吉田敬子議員**

2人目、3人目を持つと思った時に、例えば経済的な面等不安に思ったことはなかったか。

また、こういうことがあればよかった、ということはないか。八幡平市は第2子から助成金が出ると聞いているが、どうか。

**〔回答：米田さん〕**

平成29年度から、第2子以降の出産時に5万円支払われることとなった。それ以前は第3子からであった。

**○吉田敬子議員**

そういうものがあるとないとでは、やはり違うと思う。

**〔回答：古川さん〕**

自分は、八幡平市に預けているが盛岡市に住んでいるので、保育料も違う。収入にもよるが、盛岡市は保育料が高いと思う。

**○千葉絢子議員**

盛岡市にも保育料の軽減措置はあるはず。国の基準よりは安くなっていると思う。

**○千田美津子議員**

市町村によって軽減率が全然違う。

**○佐藤ケイ子議員**

八幡平市の方が保育料が安いけど、盛岡市の住民は盛岡市の基準が適用されてしまう。

**○吉田敬子議員**

この中で、育休をもしもっと取れるならば、取りたかったという方はいるか。先程、出産に向けて調整中という話もあったが、経済的な面は別として、育児にもっと専念したいという気持ちはなかったか。

**〔回答：古川さん〕**

自分は6カ月でちょうどよかった。保育園で働いているということもあるかもしれないが、保育園に入っていた方がいろいろなことを学べるので良いと思う。保育士が足りないために育休3カ月というのは少しかわいそうだとは思っている。

**〔回答：岩崎さん〕**

もちろんもっと育休を取りたかった。まだ胸も張るし、子供がかわいい時期でもあるので、3カ月では短かった。やはり半年くらいはほしい。

**○佐藤ケイ子議員**

みんな綱渡り状態で出産、育児をしている。

やはり、家族の問題が大きい。自分の場合は、急に子供が熱を出した時に、どっちが仕事を休むかで夫とよくケンカをした。今の若いお父さんは育児に協力的だと聞くが、皆さんの家族の関係、家族の協力度合いについてお聞きしたい。

**〔回答：岡外さん〕**

よくやってくれる方だと思う。ちょうどいいくらいである。

**〔回答：米田さん〕**

子供が哺乳瓶でミルクをなかなか飲まず、美容院に行っている間に子供に泣かれて夫が戸惑うこと

があった。どうしても乳児期は夫が子供をみるのをためらい、外出しづらかった。夫は、洗濯等の家事はよくやってくれるし、先に寝ていていいと言ってくれるが、もう少し子供達に構ってくれるとありがたいと思う。

**〔回答：高橋さん〕**

夫は子守が上手であり、実家の兄と母も子供達をととてもかわいがってくれている。夫の実家で面倒を見られない時は、実家で面倒を見てくれるので、今大変なところはない。

**○工藤勝子議員**

岩崎さんは現在妊娠中とのことであるが、いつ出産予定なのか。

**〔回答：岩崎さん〕**

来年の6月である。

**○工藤勝子議員**

体を大事にして、元気な赤ちゃんを産んでほしい。

**〔回答：立柳さん〕**

家事分担というより、夫は掃除が大好きで勝手にやってくれるので、私は料理係という感じである。ミルクも3時間置きに起きて与えてくれた。その延長で、今も一生懸命家事をしてくれているので、楽をさせてもらっている。

**〔回答：古川さん〕**

最初は3人でアパートに住んでいたのですが自分でやらなければいけないという負担が大きかった。子供も最初は何で泣いているのかも分からず、自分も泣いてしまうことがあったが、慣れてくればそれなりにできた。夫は洗濯などをしてくれたが、実家で暮らすようになってからは、母が掃除等をしてくれることもあって夫はあまり手伝わなくなった。自分の帰りが遅くなると、母が夕飯を作ってくれるので、その代わりに自分は朝食を作るというようにある程度家事は分担されているが、女性中心に回している感じである。

ただ、子供と遊ぶのには体力が必要だし、サッカー等はできないので、遊び担当は父親である。先程話にもあったが、子供が熱を出した時にどっちが仕事を休むかで、しょっちゅうけんかする。夫の両親は自営業なのである程度融通はきくので、どうしても対応できないという場合は、夫を橋渡し役にして夫の母親に休んでもらえないか聞いてもらうなど、結果的にはこちらに気を遣ってくれていると感じている。

**○小西和子議員**

皆さんの話を聞き、自分は本当に恵まれていたと思った。

私が出産した時は、ちょうど教員、幼稚園の先生と看護師だけが先行して1年間の育児休業を取得できるようになって間もない時期だったので、その当時は無給だったが1年間育児休業を取得した。

無給ではあったが、1年間子供と一緒にいられるのはありがたかった。小学校に勤務していたが、周囲から「お母さんの代わりは誰もいないから、何かあったら遠慮なく言ってくれ」と言われ、学校の見回り等は除外してもらったり、出産のお祝いもいただいた。2人の子供は、両方母乳で育てたが、母乳で育てることができたのは八幡平市に関係がある。八幡平市の方と出産の際に同じ病室になり、その方に「ミルクは買わないように。買うと頼ってしまうから。絶対母乳は出るから。」と励まされた。そうしたら、本当に母乳が出た。言われなかったら、ミルクで育てていたと思うのでありがたか

った。子供の発熱時などは、夫は当時、大船渡の定時制高校で教員をしていたので、午前中は夫が面倒を見て、午後は自分が年次休暇を取って面倒をみた。ある時、病院に連れて行くと「今日はお泊りですよ。」と言われた。入院のことである。子供を入院させるなんて親として失格だと最初は泣いたが、2回目以降は、病院に預ける方が安心だと思うようになった。病院から学校に出勤し、子供のベットの脇で内緒で仕事するなどしていたが、職場の仲間には本当に支えてもらった。自分は、保育園と地域の人たちに面倒を見ていただく二重保育で育てた。地域の人たちは皆子供のことを知っていて、声をかけてくださった。転勤の時に地域の方に「先生方はいなくなってもいいけど、子供は置いて行って。」と言われるくらい、地域の方々にかわいがっていただいた。自分の母も働いていたため、出産の時も出産後も実家にも頼ることができなかつたので、自分のことは自分でやらざるを得なかつたが、周囲の方々に助けられた。子育て中は、何度も仕事を辞めたいと思ったこともあったが、夫が「女性は自立していかなければならないのだから、つらくても働け。」と言って、夫もやれることはやってくれた。

今日はどのような事業が充実すれば、皆さんが子育てしやすくなるのかを聞きたいと思っていた。産前産後サポート事業等については大丈夫だという話だったが、この地域にいる助産師等によるケア事業等があるのかお聞きしたい。

### ○工藤勝子議員

今、大切な話が出たと思う。

出産、育児にあたり、県議会や行政に対してこうしてほしいということや、助産師さん等によるケアが必要なのかについて、お聞きしたい。もしこういうことをやってくれたら、もう一人子供を持ちたい、若い人が結婚するのではないか、子育てが楽になるのではないかなど、何でもよいのでお聞かせ願いたい。

#### 〔回答：高橋さん〕

病院が少ないと思う。小児科は3カ所あるが、月水金しか診てもらえない、少し遠くの病院に行って1～2時間待って診てもらうなどある。盛岡市まで行って診てもらっても、先生と合わなくてまた別の病院を探さなければならないこともある。子供に対して手厚い病院が近くにあればいいと思う。夜中に発熱した際は、岩手医科大学付属病院に連れて行くと待たされるので、自分は盛岡市の旧競馬会館にある夜間急患診療所に連れていくのだが、発熱したり嘔吐している子供を車でそこまで連れて行くのは大変である。もう少し近くに病院があればいいと思う。

#### 〔回答：岩崎さん〕

夜間診療や入院は盛岡市の小児科まで連れて行かなければならないので、近くにあればいいと思う。産婦人科も前は岩手町にあったが今はなくなった。自分はずわりがひどく今盛岡の病院に通っているが、もう少し近くに産婦人科が欲しいと思う。

#### 〔回答：立柳さん〕

耳鼻科が近くにあればいいと思う。あと、子供がアレルギーを持っているが、何に反応するのがわからず、反応が出るとすぐに盛岡市の病院に連れて行くが、その時は既におさまっている。近くに病院があって、反応が出ているうちに診てくれるようであればとてもいいと思う。

#### 〔回答：古川さん〕

やはり病院の充実と、病児保育をやってくれる保育園やそれに伴う保育士の確保が必要だと思う。八幡平市で保育士の免許を持っていても、他で働いている人もいるので、八幡平市で働きたいと思っ

てもらえるような働く方への援助があってもよいのではないか。

**〔回答：米田さん〕**

皆さんと同じような話になってしまうが、八幡平市には耳鼻科と皮膚科がない。小さいうちはおむつかぶれや中耳炎を起こしたりする。あとは入院できる小児科。小児科は土曜日の午前中はやっているが、日曜日や夜間となると盛岡市まで連れていかなければならないのは大変なので、そのような機能の充実や病児保育もできればほしいと思う。

**〔回答：岡外さん〕**

夜間の病院が近くに欲しいし、皮膚科も盛岡市に行っているので近くに欲しい。

**○工藤勝子議員**

皆さんの方から、何か議員に対し聞きたいことはないか。

**〔回答：古川さん〕**

議員の方々も、子育てしながら議員をされているので、我々と一緒なんだなと思った。同じような状況にある方が意見を言ってくれる立場にいますので、非常に心強く思った。

**○吉田敬子議員**

先程小西議員からは、産前産後のサポートは大丈夫そうという話があったが、皆さんの話を聞いて、本当は、近くに産婦人科がないから、近くに頼れるところがあればよい、必要だということだと私は受け止めた。私も盛岡市の病院で出産したが、例えば盛岡市で出産した人も、産後に助産師などが近くにいれば、頼りたいと思っているのではないか。

こんなこと聞いてもいいのかという些細なことだと、遠い病院だと行きづらいという話も出ていたので、せめて近くに助産師などがいて相談できるといいのだろうと感じた。今日は、皆さんの意見が聞けてよかった。

**〔回答：岩崎さん〕**

こちらは産むのが初めてなので、わからないことは聞きたいと思うが、自分は保育士なので、「保育士さんなら大丈夫だね。」と言われてしまうことがある。

**○ハクセル美穂子議員**

私は、子供が小さく、夜、熱を出したとき、岩手医科大学附属病院や盛岡市の夜間病院に行く前に、看護師が対応してくれる相談ダイヤルのお知らせをもらっていたことを思い出し、このままいても大丈夫な病気なのか判断できないと思って電話し、大丈夫だと言われたので、次の日まで受診を待ったこともあった。皆さんの話を聞いて、妊娠中もそのような相談ダイヤルがあってもいいのではないかと思った。皆さんの中に、そのような相談ダイヤルを使用したことがある方はいるか。

**○千葉絢子議員**

「#8000」（子ども医療電話相談）ではないか。今は母子手帳に記載しているようである。

**○ハクセル美穂子議員**

私もその時、何を見たのか、なぜ気づいたのかは今は思い出せないが、すごく助かった。盛岡市の病院までは50分位かかるので、先程高橋さんの話にあったように、連れて行っても「何でこのくらいで来たの。」と言われて、解熱剤のみの処方が終わったらショックだと思って電話した。そのような

相談ダイヤルのお知らせがきちんとなされていたら、皆さんはうれしいか。

### ○工藤勝子議員

そもそも皆さんはそのような番号や何かあったときに電話をかける場所は御存じか。

#### 〔回答：古川さん〕

「#8000」は聞いたことはあるが、何かあれば、私だったらまず病院に連れて行ってしまおうと思う。

### ○工藤勝子議員

実際にかけてみた方はいないか。

#### 〔回答：米田さん〕

1回かけてみたことがあるが、胃腸炎で下痢、嘔吐があったので一応かけてみたが、「心配であれば受診してみてください。」と言われ、やっぱりそうだろうなと思った。

### ○工藤勝子議員

今、相談ダイヤルの話が出たが、児童虐待が今大きな問題となっている中で、「189」（児童相談所全国共通ダイヤル）を御存じの方はいるか。「いちはやく」にダイヤルすると24時間対応してくれるというシステムがある。児童虐待は自分たちには関係がないと思う気持ちもわかるが、例えば、身体検査をした時に傷やあざがあるなど保育士等の周りの人によって発覚するケースが多い。泣き声が常に聞こえているなどの人が周りにいた場合には、電話をかけることも大事である。電話があれば、児童相談所につながるシステムになっているので、是非皆さん自身ではなくても、周りにそのような人がいたら「189」に相談してほしい。八幡平市では、そのようなチラシを見たことはないか。

…ないようであるが、よく商店や子育てを支援するお店等に「189」のステッカーが貼られていることがある。そのようなシステムもあるし、何か困ったことがあったら、先程話にも出た保健師や助産師等が相談に応じてくれるシステムも段々と構築されてきているので、是非周りの方々にも皆さんからお知らせしてほしい。

先程話のあった「#8000」ダイヤル相談の相談員の対応はちょっとどうかと思うところもあるが。

#### 〔回答：米田さん〕

でも、不安だったら病院に連れていけというのはもっともだと思う。大丈夫とはいえないだろうから。ただ、岩手県の場合は、「#8000」は確か23時までの対応だったと思う。深夜や明け方まではやっていない。

### ○千田美津子議員

県によっては、24時間対応しているところもある。

### ○千葉絢子議員

「#8000」と「189」は、私の子供が通っている保育園には玄関に貼っていて、みんなが見られるようになっているので、保育園にはおそらく情報があると思う。皆さんの中には保育園に勤務している方もいらっしゃるのでは、是非保護者の目につくように掲示してもらえるとよいのではないかとと思う。

また、うちの保育園では、地域の子ども食堂や病児保育の案内なども、ウォールポケットのようなものを作って差し込んであり、情報共有できる仕組みになっている。そのようなことを、皆さんの保育園にもご提案いただければ、母親の助けになるのではないかとと思う。

## ○工藤勝子議員

時間も迫ってきたので、最後にこれだけはいっておきたいという人はいないか。

## ○佐藤ケイ子議員

子育ても仕事も大事なことであるが、職場で妊娠したことを喜んで貰えないとか、保育士不足で保育園から妊娠するならこの時期にしてほしいと言われることもあると聞いており、大変だと思っていたが、皆さんの場合は、なんとかやっているようなので安心した。子育ては本当に短い期間なので、これからの自分の人生のためにも、仕事も子育ても適度にバランスをとって、頑張れとは言わないが、頑張れない時には助けを求めて乗り切ってほしいと思う。

## ○工藤勝子議員

皆さんを代表して、どなたかから本日の感想をお聞きしたい。古川さん、いかがか。

### 〔回答：古川さん〕

こういう機会はないので、すごく自分にとって貴重な機会だったと思うし、議員だけではなく他の母親の方々からも話も聞けて、ためになり、自分だけじゃないということもわかった。今日出た意見が是非反映されて、いい方向に向いてくれればいいなと思った。

## ◆ 閉会

### ○工藤勝子座長

今日は、平日のお忙しい中、時間を割いてお集まりいただき、感謝申し上げます。皆さんからお聞きした話や提言は、いろいろな形で議会活動に反映していきたいと考えている。

少子化が進む中で、皆さんは貴重な存在であり、子供たちは岩手県の宝であるので、是非自分達の子育てに自信と誇りをもって取り組んでほしい。多くの子供の中で、多くの兄弟の中で育つということは、非常にいい環境であると思う。

私の地元の遠野市には助産院がある。一度は病院に行って妊娠を確認したら、あとは遠野市の助産院で定期健診を受け、おなかが痛くなったら指定された病院に行くシステムになっているので、車の中で出産する方もいる。非常に産婦人科医が少なくなり、集約されてきている中で、八幡平市はまだ遠野市よりは恵まれていると思った。是非、これからも県議会に対し、皆さんの声を届けていただければと思う。

最初我々は、多くの県民に来ていただき「本音で語ろう県議会」という取り組みを行っていたが、今は特定のテーマを決めて県民と語り合う形で行っており、本日お集まりいただいたものである。特に、女性だけを集めて行う意見交換会は初めての試みであった。そのような中で、本日御参加いただき改めて感謝申し上げます。

以上で、意見交換会を終了させていただく。